

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Evaluation)

| | | | |
|---|--------------------|---------------------------|-----|
| 博士の専攻分野の名称 (Major Field of Ph.D.) | 博士 (文学) Ph.D. | 氏名 (Candidate Name) | 張 潔 |
| 学位授与の要件 | 学位規則第4条第1項該当 | | |
| 論文題目 (Title of Dissertation) 清末期における中国人留学生とナショナリズム | | | |
| 論文審査担当者 (The Dissertation Committee) | | | |
| 主 査 (Name of the Committee Chair) | 教授 | 中山 富廣 | |
| 審査委員 (Name of the Committee Member) | 教授 | 本多 博之 | |
| 審査委員 (Name of the Committee Member) | 教授 | 金子 肇 | |
| 審査委員 (Name of the Committee Member) | 准教授 | 奈良 勝司 | |
| 審査委員 (Name of the Committee Member) | 名誉教授 | 勝部 真人 (広島大学) | |
| 〔論文審査の要旨〕 (Summary of the Dissertation Evaluation) | | | |
| <p>本論文は、19世紀末～20世紀初頭における中国人女子留学生が、下田歌子の良妻賢母教育思想をいかに受容し、そのことが彼女らの国家意識・民族意識にいかなる影響を与えたのかについて考察したものであり、序章「本稿の課題と構成」と5章から成る本論、および終章「総括と今後の課題」で構成されている。</p> <p>第一章「下田歌子の『良妻賢母』女子教育観」では、従来の良妻賢母教育が家庭における女子の日常的な役割を固定化することにあつたとする。対して下田歌子のそれは、漢学の素養、海外留学の経験などから「国体論・武士道」と結びついた国家意識の涵養を強調した良妻賢母教育論であつたことを明らかにした。</p> <p>第二章「日本人女子学生と良妻賢母思想」では、下田が設立した実践女学校における教育の実態と日本人女学生への良妻賢母教育を分析する。女学生は通常の良妻賢母像を受容したものの、良妻賢母思想と結びついた下田の「国体論」的国家意識の涵養は女学生にとって無縁のものであつたと指摘した。</p> <p>第三章「中国人女子留学生と実践女学校の教育」では、留学生に対する良妻賢母教育の実態と寄宿舎生活を分析する。女子留学生にとって「忠君愛国」といった「国体論」などは無縁であり、母国の近代化（ナショナリズム）こそ焦眉の課題として意識されたとする。彼女らの多くは国家・国民意識の涵養という下田の主張を一部受容しながらも、良妻賢母思想とは切り離し、民族自決主義に基づく国民意識を形成していったことを明らかにした。そして彼女らが歴史や自然系の学びを通じて世界観を広げ、その中から女性解放思想さえ獲得していったことを展望する。</p> <p>第四章「中国人留学生における民族的位相」では、清朝の既得権益層に属する旗人（満人中心）留学生の近代ナショナリズム、とりわけ愛国主義の覚醒について分析する。清朝政府は政権維持のため、多くの旗人を警察留学生として派遣した。長福などの旗人留学生は、梁啓超ら知識人の影響を受けて近代国民思想に目覚めていき、「拒俄義勇隊」への参加を通じて漢人留学生との交流を深めるとともに、旗人としての自己意識から中華民族という理念的に仮構された国民意識を創出していったことを明らかにした。</p> <p>第五章「異文化交流と相互認識」では、20世紀初頭の中国人留学生と日本人教職員間の交流の諸相を分析する。実践女学校教職員と宏文学院校長嘉納治五郎を取り上げ、清国教育の将来のために人材育成をめざしていたこと、大多数の留学生は西洋の知識を優先するあまり日本文化を軽視し</p> | | | |

ていたことを指摘した。しかしなかには日本の文化を理解し下田のいう「良妻賢母」が理想的女性像であると認識する者もいたことを発掘した。

以上、本論文は新聞記事のみの表面的な分析がまま見られ、使用概念や用語、章構成にも改善の余地があるものの、下田の良妻賢母教育思想に武士道・国体論的側面を新たに指摘したこと、警察留学生の実態とその歴史的意義にまで論を展開しようとしたことなど評価すべき点が多い。

以上、審査の結果、本論文の著者は博士(文学)の学位を受ける十分な資格があるものと認める。

備考 要旨は、1,500字以内とする。

(Note: The summary of the Dissertation should not exceed 500 words.)